

関西病害虫研究会第102回大会プログラム

日時:2020年5月28日(木) 9:30~17:15

会場:ホテルセントノーム京都 平安の間

公演時間:1講演15分(予鈴10分、本鈴12分・講演終了、終鈴15分・質疑応答終了)

講演(平安の間)

発表時間	講演番号	タイトル 会報員	講演者	所属	座長
9:30-			受付		
10:00	1	愛知県におけるコムギ赤さび病の多発生要因解析 p.15-20	○恒川健太・森崎耕平・永井裕史・石川博司・西本浩之・坂紀邦・杉浦兼之	愛知県農業総合試験場	木村重光
10:15	2	水耕栽培のホウレンソウに発生するオルピディウム根腐病に対する各種薬剤の効果 p.157-159	○西村幸芳1・草刈眞一2・東條元昭3	1大阪府立環境農林水産総合研究所・2大阪植物防疫協会・3大阪府立大学大学院	木村重光
10:30	3	京都府におけるネギえそ条斑病の季節的発生推移および地理的分布 p.198	○伊藤弓佳1・久下一彦2・橋本典久2・檜垣誠司2・徳丸晋虫2	1京都府農林水産技術センター生物資源研究センター・2京都府農林水産技術センター農林センター	木村重光
10:45	4	岐阜県の夏秋トマト産地における灰色かび病菌の薬剤感受性 p.197	○小島一輝・渡辺秀樹	岐阜県農業技術センター	木村重光
11:00	5	病害予測モニタリングシステム「Plantect®」を用いたトマト葉かび病防除効果の検証 p.197	○川上拓1・中嶋香織1・盛朝子2	1三重県農業研究所・2ポッシュ株式会社	津田和久
11:15	6	カーバムナトリウム塩液剤の希釈かん水処理によるトマト地上部病原菌および土壌病原菌に対する殺菌効果 p.198	○渡辺秀樹1・小島一輝1・遠藤彰将2・府賀伸彦3	1岐阜県農業技術センター・2岐阜県中山間農業研究所・3ZMクロッププロテクション株式会社	津田和久
11:30-12:30			昼食 (評議委員会:貴船の間)		
12:30-13:00			総会(平安の間)		
13:00-14:00		特別講演(平安の間) 久保康之(摂南大学農学部(前 京都府立大学大学院)) 「ウリ類炭疽病菌の感染器官形成と病原性」 武田光能(農研機構 野菜花き研究部門) 「害虫の季節適応の解明から防除適期の予測と発生予測を考える」			
14:00	7	トマトすずかび病菌に対する殺菌剤の評価 p.199	○平山喜彦1・芳田侃大1・神川諭2	1奈良県農業研究開発センター・2奈良県東部農林振興事務所	津田和久
14:15	8	農業散布器具の洗浄と器具内の農薬残留について p.202	○天野昭子・渡辺秀樹	岐阜県農業技術センター	津田和久
14:30	9	カキノキ葉上の捕食性クダアザミウマ類がカキクダアザミウマの増殖率に及ぼす影響 p.201	○山本圭一郎・中尾史郎	京都府立大学大学院生命環境科学研究科	徳丸晋虫
14:45	10	キク科雑草から発見されたHaplothrips nigricornis Bagnal(アザミウマ目クダアザミウマ科)の発生生態 p.47-53	○石川陽介・桑山健二	農林水産省神戸植物防疫所	徳丸晋虫
15:00	11	三重県におけるネギアザミウマの産雌性単為生殖系統の発生と殺菌剤感受性 p.161-163	○笹山哲夫・田口裕美*・田中千晴・西野実	三重県農業研究所	徳丸晋虫
15:15	12	奈良県のイチゴで発生するヒラズハナアザミウマに対する各種殺菌剤の殺菌効果 p.179-180	○山口貴大1・小林甫2	1奈良県農業研究開発センター・2奈良県北部農林振興事務所	岡留和伸
15:30	13	チャ栽培における赤色防虫ネットのチャノキイロアザミウマに対する防除効果 p.1-4	○徳丸晋虫	京都府農林水産技術センター	岡留和伸
15:45	14	滋賀県における斑点米カメムシ類5種に対する各種薬剤の殺菌効果 p.169-172	○重久眞至	滋賀県農業技術振興センター	岡留和伸
16:00	15	奈良県の施設キュウリから採集したワタヘリクロノメイガ幼虫に対する各種殺菌剤の殺菌効果 p.173-174	○井村岳男1・玉井喜文2・鳥居名実子2	1奈良県農業研究開発センター・2なら食と農の魅力創造国際大学校	岡留和伸
16:15	16	製造元の異なる発生予測用フェロモンルアーに対するチャノコカクモンハマキの誘殺消長 p.199	○田中千晴・菅谷耕紀	三重県農業研究所	山下幸司
16:30	17	京都府におけるナシコスカシバのフェロモントラップへの誘殺消長と発生地域 p.200	○久木崎孝弘1・橋本香2・中秀司3・徳丸晋虫1	1京都府農林水産技術センター農林センター・2京都府丹後農業改良普及センター・3鳥取大	山下幸司
16:45	18	カキノヘタムシガ第2世代幼虫防除と最終防除によるカキ樹幹害虫の防除効果について p.200	○杖田浩二	岐阜県農業技術センター	山下幸司
17:00	19	農作業の一環として行う簡易病害虫発生調査方法の検討 p.201	○池田恭子・中内未来・上山博・鷲田治彦	株式会社オーガニックnico	山下幸司

講演発表者へお願い

○講演時間は発表12分、質疑応答3分の合計15分です。

講演に関するお問い合わせ

京都府農林水産技術センター農林センター丹後農業研究所

担当:津田 和久(k-tsuda72@pref.kyoto.lg.jp)

TEL:0772-65-2401

会場へのアクセス

ホテルセントノーム京都

〒601-8004 京都市南区東九条東山町19-1

◎JR京都駅 八条東口(新幹線、在来線)より東へ徒歩3分